



# おさかな瓦版

No. 81  
2018.1

シリーズ：エビ・カニ 第5回

## ヒラツメガニ



ふーちゃんのトピックス

「海とさかな」自由研究・作品コンクールの受賞作品が決定

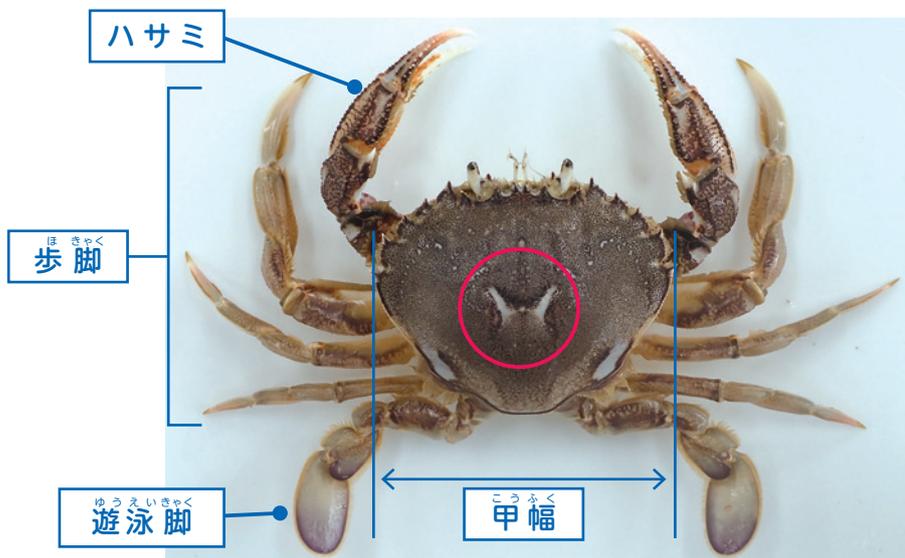
水産大学校の練習船「天鷹丸」が新しくなりました

# ヒラツメガニ

～ ご存じですか？ 全国で愛される大衆“蟹”～

ヒラツメガニ（1）は日本および中国・  
韓国の沿岸に生息しています。日本では北海  
道南西部から沖縄にかけて広く分布していま  
す。水深100メートルより浅い、砂地の海底  
に多くすんでいます。甲羅の幅（甲幅とい

ます）は大きいオスで8.5センチくらいにな  
ります。メスはオスより一回り小さいです。  
甲羅の真ん中には特徴的な“H”字型の溝が  
あり、地域によっては「エッチガニ」と呼ば  
れたりもします（ワンポイント）。



ろの脚の先端は平べったい形に  
なっています。これは泳いだり  
砂に潜ったりするのに役立ちま  
す（1、この脚を遊泳脚とい  
います）。この遊泳脚を持つ仲間  
には、ガザミやイシガニなどが  
います。

はさみの下側（腹側）をよく見  
ると、線がたくさん並んだやす  
り状になっています（2）。ヒ

1 ヒラツメガニ（○はH字型の溝）



あんじいの  
ワンポイント  
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

## 呼び方が変わるカニ

ヒラツメガニは地域によってさまざまな呼び方があるぞ。  
たとえばヘラガニ、ヒラガニ、マルガニ、エッチガニ、八の  
字ガニ、シラガニなどじゃ。魚介類には、このように地域に  
よって違う名前（地方名）で呼ばれているものが多くあるの  
じゃ。旅行先などでお魚屋さんやスーパーなどに立ち寄る機  
会があれば、名前に注目してみるとおもしろいぞ。





📷 3 店頭に並ぶゆでたヒラツメガニ

ラツメガニの仲間は、これを歩く脚（歩脚）とこすり合わせることでギーギーと音を出すことが知られています。この音はオスとメスの繁殖行動に関係しているのではないかとわれています。

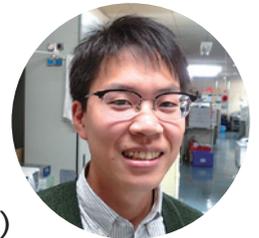
寿命はおおよそ1年から1年半といわれています。産卵期は10月ごろから翌年5月ごろですが、卵を持つメスは秋から冬にかけて、春から初夏にかけて多くみられます。卵からふ化した幼生はゾエアとよばれ、海の中をただよいプランクトン生活を送ります。やがてメガロパという幼生を経て稚ガニとな



📷 2 ヒラツメガニのはさみ

り、おとなのカニと同じように海底での生活を始めます。春から夏にかけて着底した稚ガニは、どんどん成長してその年の秋には卵を産むと考えられています。

ヒラツメガニはおもに刺網、底曳網、カニ籠などによって漁獲されています。ガザミなどに比べると小さいですが、味の良さでは負けません。ゆでてそのまま食べても、おみそ汁にしても、風味豊かな海の香りが楽しめます。価格も比較的安いので、お店で見かけたらぜひ食べてみてください(📷 3)。



もりかわ えいすけ (森川 英祐)

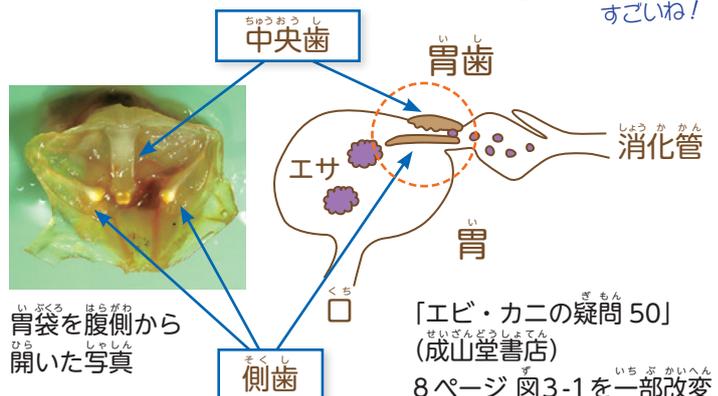


## 胃の中に歯がある!?



カニは口の前にあるたくさんの脚を使ってエサをある程度ほぐし、口の中に入れていきます。外から見えるのはここまでですが、カニの食事にはさらに段階があります。実は、カニの胃には「歯」のような構造があり（胃歯と呼ばれます）、ここでさらにエサを細かくかみ砕きます。

胃の中に歯があるなんてすごいね!





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

「さかなと森の観察園」

〒321-1661  
栃木県日光市中宮祠 2482-3  
☎ 0288-55-0055  
http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/  
【開園日】3月20日～11月30日

★電頭の滝のすぐ近く!



# 「海とさかな」

## 自由研究・作品コンクールの受賞作品が決定

「海とさかな」自由研究・作品コンクールは朝日新聞社と朝日学生新聞社の主催で、「海とさかなとわたしたち」をテーマとした研究・作品を小学生から募集し、優れた作品には賞が授与されます。第36回となる今回は31,627点もの応募作から、水産研究・教育機構理事長賞に以下の作品が選ばれました。これらの作品は3月20日から日光の「さかなと森の観察園」で農林水産大臣賞の2作品とともに展示されます。

### 水産研究・教育機構理事長賞

#### 観察図「じいちゃんの大切なフナ」

大分県 大分市立春日町小学校 孔井 露山土彩海さん



#### 工作「ホタルイカ漁」

富山県 富山市立新保小学校 水口 颯介さん



## 水産大学の練習船「天鷹丸」 が新しくなりました

天鷹丸は当機構の水産大学に所属する練習船です。32年間活躍してきたこれまでの天鷹丸（総トン数716トン）に代わり、

新しい船が造られました。新しい天鷹丸（総トン数995トン）は、安全性や居住環境が向上したほか、調査船としての機能をあわせ持つ最新の練習船として、ますます活躍してくれることでしょう。



ふーちゃん



ふつくん

：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

### おさかな瓦版 No.81 (2018年1月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構  
質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3  
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702  
ウェブサイト http://www.fra.affrc.go.jp/

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。＜聞きたいことの内容＞、＜学年＞、＜住所＞、＜名前＞を忘れずに書いてね。ふつくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



ヒラツメガニ



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。